

先祖が遺した宝物【せんがまち】

# 千榎

先人が汗と涙で築いた貴重な遺産、そして私たちを育ててくれた棚田。メダカが棲み、ホタルの舞う棚田を守ることによって、きれいな水と緑あふれる自然の大切さを子供達に伝えていこうと頑張っています。美しく心地の良い里山の風情を感じに、あなたも棚田の散策に出かけましょう！

## 千榎【せんがまち】とは？

昔から地元では「千の田んぼ」という意味で呼ばれています。「榎」と言う字には柵という意味があり、数千のあざが織りなす風景を連想させます。

- 面積：10.1ha ■ 枚数：2742枚
- 作付面積：3.5ha
- 受賞歴
  - 第1回静岡県景観賞優秀賞 (H20)
  - 静岡県棚田等十選 (H11)
  - 第2回「田んぼの学校」企画コンテスト金賞
  - 静岡県県コミュニティ活動優秀賞
  - ふじのくに美しく品格ある邑(むら)県知事顕彰など



## 水車と東屋

水車による発電をインシシ除けの電気柵などに利用しています。隣接して建てられた東屋で水音を癒されてみては？

## 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」

茶草場とは茶畑に敷く草を刈る「半自然」の草地のこと。農業や肥料の影響をあまり受けず定期的に人の手が入るこの草地は、キキョウやフジタイゲキなどの貴重な植物や、ニホンアカガエルなど絶滅危惧種が数多く生息するための貴重な環境を保っています。

## 茶草場



## 古代米

静岡大学棚田研究会の実験ほ場で古代米を育てています。

## ニホンアカガエル



## シャジクモ



## シュレーゲルアオガエル



## 生きものがにぎわう棚田

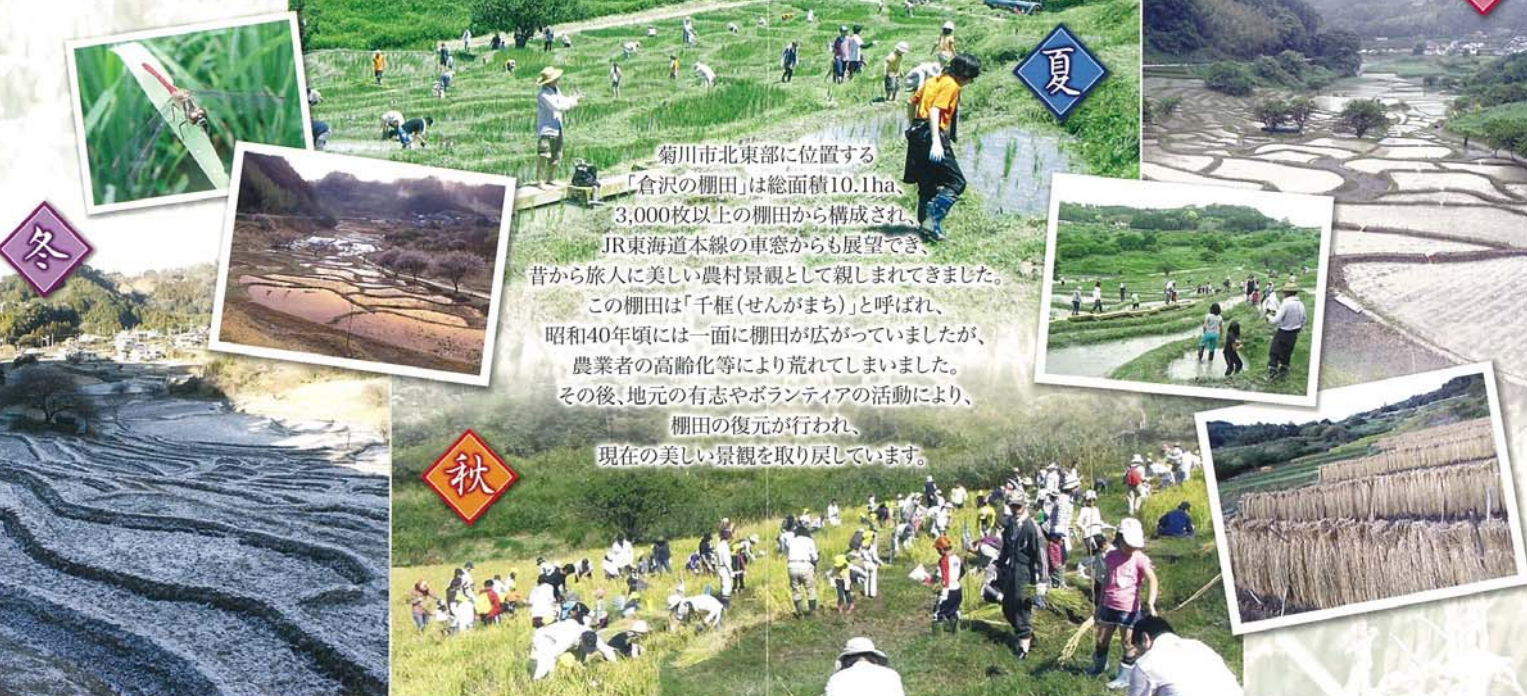
写真のような貴重な動物はもちろん今ではなかなか見られなくなった里山ならではの昆虫や植物など豊かな生態系を棚田が支えています。

## ビオトープ

ホタルの餌となる「カワナ」の生育場所です。ホタルなど懐かしい昆虫を呼び戻します。

## 世界農業遺産とは

次世代に受け継がれるべき重要な伝統的農業や生物多様性、伝統知識、農村文化、農業景観などを全体として認定し、その保全と持続的な活用を図るものです。現在、11カ国、25の地域(日本では5つの地域)が認定されています。



菊川方面→

上倉沢公会堂●

春

夏

冬

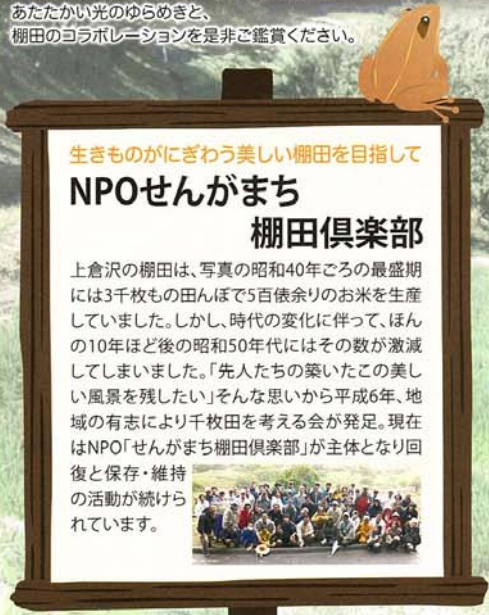
秋

菊川市北東部に位置する「倉沢の棚田」は総面積10.1ha、3,000枚以上の棚田から構成され、JR東海道本線の車窓からも展望でき、昔から旅人に美しい農村景観として親しまれてきました。この棚田は「千榎(せんがまち)」と呼ばれ、昭和40年頃には一面に棚田が広がっていましたが、農業者の高齢化等により荒れてしまいました。その後、地元の有志やボランティアの活動により、棚田の復元が行われ、現在の美しい景観を取り戻しています。



## あぜ道アート


毎年、田植えを終えた後、700本の回ウソクに炎を灯す「あぜ道アート」を行っています。回ウソクの炎が、きれいな田を植えられた田んぼに反射して幻想的な世界に。あたたかい光のゆらめきと、棚田のコラボレーションを是非ご鑑賞ください。

生きものがにぎわう美しい棚田を目指して

### NPOせんがまち 棚田倶楽部

上倉沢の棚田は、写真の昭和40年ごろの最盛期には3千枚もの田んぼで5百俵余りのお米を生産していました。しかし、時代の変化に伴って、ほんの10年ほど後の昭和50年代にはその数が激減してしまいました。「先人たちの築いたこの美しい風景を残したい」そんな思いから平成6年、地域の有志により千枚田を考える会が発足。現在はNPO「せんがまち棚田倶楽部」が主体となり回復と保存・維持の活動が続けられています。




## お月見コンサート



小学生と大学生が企画から演出、運営をするコラボイベントで、出演者は市内外から参加をしています。



私たちも応援しています

### 静岡大学 棚田研究会

静岡大学棚田研究会(通称たな研)は、2009年12月に設立し、NPOせんがまち棚田倶楽部と連携して、草刈、田植えなどの棚田保全活動を行っています。



**一社一村 せずおか運動** (株)ウェブサクセス ● (株)沖開発

「一社一村せずおか運動」は農山村集落と企業や大学が手を組み、双方にメリットのある協働活動を行っている取組です。

せんがまち棚田倶楽部では、農業体験や収穫したお米がもらえる棚田オーナーを募集しています。(全50区画)

